

令和4年度 企画管理部長「政策宣言」達成状況

企画管理部長 小塚 悟

○ 令和4年度重要事業

| 事業名 | 第3次射水市総合計画の策定 |
|---------|---|
| 目標 | 「未来世代から選ばれるまち いみず」を目指し、これまで以上に満足度の高い新たなまちづくりを推進するため、市民意識調査やタウンミーティング等で市民の皆様からいただいた意見を踏まえるとともに、ウェルビーイングといった新たな観点も取り入れながら、第3次射水市総合計画を策定します。 |
| 年度末達成状況 | 「いろどり ひろがる ムズムズ射水」を将来像に掲げる計画案を、11月18日に射水市総合計画審議会から答申いただき、その内容に基づく基本構想・基本計画策定の議案を市議会12月定例会において議決いただきました。 |
| 自己評価 | 審議会やパブリック・コメントでいただいたご意見を反映し、ライフステージごとの構成とした市民目線の新しい総合計画を策定することができました。今後、この基本構想・基本計画の実現に向けた具体的な事務事業を定める実施計画の策定作業を進めます。 |

| 事業名 | 行財政改革の推進 |
|---------|---|
| 目標 | 本市の補助金制度の適正な運用を図り、市の政策目的を効率的かつ効果的に実現していくため、補助金ガイドラインの策定に取り組むほか、引き続き第4次行財政改革大綱及び集中改革プランの進行管理に努めるなど、着実に行財政改革を進めます。 |
| 年度末達成状況 | 補助金ガイドラインについては、行財政改革推進会議での審議を経て9月に策定し、ガイドラインに示した基本的な視点、見直しの基準に沿って補助金が適正かつ効果的に運用されているか検証作業を進めたほか、集中改革プラン令和4年度改訂版に基づき、行財政改革の取組を進めました。 |
| 自己評価 | 当初目標のとおり、行財政改革の取組を進めることができました。引き続き本市の規模に見合った健全で持続可能な行財政基盤の堅持に向け、デジタル技術の活用や公民連携等による行財政改革の取組を一層推進してまいります。 |

| | |
|---------|---|
| 事業名 | DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進 |
| 目標 | <p>新たなデジタル技術を活用し、市民サービスの充実と利便性向上を図るため、本市をフィールドとした高等教育機関との共同研究に取り組みます。</p> <p>また、多様化するニーズへの対応など市民サービスの充実を図るため、AI（人工知能）やRPA（ロボット）を活用した定型業務の自動化による業務の効率化に努めます。</p> |
| 年度末達成状況 | <p>「新しい地域交通」、「シェア社会」、「健康管理」を富山県立大学DX教育研究センターとの共同研究テーマとして掲げ、自動運転の課題調査やカーシェアリングの実証、健康アプリを活用した行動変容などの研究に取り組みました。</p> <p>また、AIやRPAを活用し、新たに3業務の自動化を行い、年間約348時間の業務時間を削減するなど、業務の効率化に取り組みました。</p> |
| 自己評価 | <p>DXの推進に当たっては、大学が持つ先端的な技術や知見を生かした調査・研究を共同して進めることができました。引き続き、誰もが利便性を実感できる生活スタイル変革の実現に向け取り組みます。</p> <p>また、庁内業務のデジタル化による市民サービスの充実についても継続して推進します。</p> |